ラブづくりに努めましょう」と締

会ができた。これからも元気なク 会長は「怪我もなく、楽しい運動 閉会式で老人クラブ連合会の田中 会員相互に友情の輪を広げました。 にはスピードある連携を見せて、 取組みながらも笑顔がはじけ、時 プログラムで対抗。競技に真剣に

めくくりました。優勝した西岡チ

ムをはじめ会員の皆さん、

老人クラブ大運動会が開催されま

した。参加した約900

人の会員 9 つ の

ムに分かれ、

11日、ツインドー

ム重信で第14回

秋風が心地よく吹き始めた10月

愛媛大学医学部西側に整備され

老人クラブ大運動会が開催明るく心豊かに





П | 体験棟で初開 ゼルでジャム作り

参加者はハ 地域産品の良さを伝えました。主催 えてくれる。 帥を務めた渡部嬌子さん(下林)は、 ゼルを使ったジャム作りを体験。講 ジャム作り体験が開催されました。 林のかんきょう農園で育ったロ 9月27日、さくらの湯観光物産セ ブは生活に潤いと安らぎを与 ふるさと体験棟で、ローゼル 是非使ってほしい」 ブの用途や効能の説明









た。その後、各部屋の入所者やデ 通います」と笑顔で受け取りまし を贈呈しました。ご長寿の方を代 気でいてください」と記念品など 老人ホームガリラヤ荘を訪問し、 「これからも元気にデイサービスに 表して、渡部貞美さん(樋口)が とうございます。これからもお元 迎えられる方々に「ご長寿おめで 令を受けた市長は、米寿や白寿を 一日施設長となりました。式で辞 9月25日、加藤市長が特別養護 ービス利用者の方のもとを訪 ご長寿をお祝いしました。





加藤市長が1日施設長就任





災害時の連携強化

層強力に行っ でなく後の支援が大切であり、 者が被害を受けやすく、 協藤原会長は「災害時には要支援 とを目的として 支援者等への支援を充実させるこ 模な災害等が発生した際の連携を る協定書」 おけるボランティア活動等に関す 東温市社協が締結した「災害時に する協定書」の調印式が行わ 市社会福祉協議会の協力活動に関 より円滑なものとし、避難行動要 した。この協定は平成22年に市と の内容を見直し、 います。 避難だけ 東温市社





東温市社協と災害時協力協定

9月28日、「災害時における東温









to on time &

志津川区画整理が全国表彰受賞 景観形成を高く評価!

もので、 民主体で実施した点が高く評価さ 街づくりフォ 市民ワークショップなど、地域住 す。景観形成の計画や策定までの 理組合が県内で初受賞したもので 会の会長賞を受賞しました。これ 公益社団法人街づくり区画整理協 ている志津川土地区画整理事業が、 慢良事例を募集、選考し表彰する 進・啓発する同協会が、全国から 11月13日開催の 区画整理による街づくりを推 東温市志津川土地区画整 「区画整理と



滑川どろんこサッカ #人生でいちばん汚れた日

声をきっかけに、地域おこし協力 交流を深めました。「思ったよりだ 洗い流し、 ら熱戦を繰り広げた後、川で泥を す。参加者は泥に足をとられなが となって行われた手作りの大会で 隊や滑川清流クラブの方々が主催 かできないか?」という地域の方の 終わった使っていない田んぼで何 第1回どろんこサッカー大会が行 し、優勝を争いました。「稲刈りが 9月24日、なめがわ清流の森で ーを頬張りながら、地域住民と 市内外から12チー 地域の方が作る猪肉カ ムが参加





愛媛県原子力防災訓練 約8000人が参加

愛媛県原子力防災訓練が行わ 相互協力体制の強化を図り、県民 国や四国4県などから約800 の原子力災害に対する理解を促進 人が参加しました。 しようと10月12日、東温消防署で 緊急時における防災関係機関の

要配慮者が搬送され、 三崎地域から陸上自衛隊のヘリ 誘導訓練を実施。東温消防署には、 電所から30㎞圏内の住民の避難・ 海空あらゆるルー 災害が発生したことを想定し、陸 地震により伊方発電所で原子力 ムガリラヤ荘職員により トを駆使して発

ちからお礼の歌「世界に一つだけ ました。苗を植え終わると生徒た に出てプランターに苗を植えてい花を育てます」と笑顔で答え、外 支援学校で「人権の花」贈呈式が ちは「みんなで協力してきれい を目的に毎年行われているもので さや思いやりを学んでもらうこと 行われました。人権啓発の一環と して花の世話を通して生命の大切 八権の花が手渡されると、生徒た 10 月 10 日、 市内の人権擁護委員などから 人権の花 贈呈式 愛媛県立みなら特 会場は温か な

13 広報とうおん 2018.11 広報とうおん 2018.11 12